

# 『日本学校心理士会年報』実践論文原稿作成・投稿要領

(日本学校心理士会年報編集委員会制定：2011年3月)

1. 本年報に掲載される実践論文(以下論文)は、学校心理学・学校心理士に関する未公開の論文とする。未公開の論文とは、学術及び一般雑誌、大学や研究機関等の紀要、一般図書に掲載されたことのない論文を言う。
2. 論文の構成は、表題、著者氏名と所属、問題(または目的)、方法、結果、考察、引用文献と和文要約、英文要約からなることを原則とする。
3. 論文は、1ページ24字×42行の2段組みで、図表を含め、刷り上がり10ページ以内とする。
4. 論文原稿は、A4の白紙に、縦置き・横書きで、日本語論文の場合、1行24字、42行を1ページ(刷り上がり2段組みの1段にあたる)として鮮明に印字する。表、図、写真等は刷り上がりの大きさを考慮して、字数と行数に換算して所定のページ以内になるよう配慮する。
5. 論文原稿の作成にあたって次のことを留意する。
  - (1) 本文は原則として「である」調で書き、常用漢字、現代かなづかいを用いて、簡潔、明瞭に記述する。
  - (2) 本文には、各ページの下部中央にページ番号を打ち、表、図、写真等は1枚ずつ印刷し、刷り上がりの大きさ(縦、横の長さ、mm(ミリ)で)を指定する。また、表、図、写真等に解説が必要な場合にはそれぞれの下方に簡潔に記述する。
  - (3) 表の題目は、表の上部に、表1 ○・・○、Table1 ○・・○のように、図、写真等の題目は図、写真の下部に、図1 ○・・○、Fig.1 ○・・○のように示す。
  - (4) カタカナは、原則として、日本語化した外国語の記述にのみ用いる。
  - (5) 外国語は、外国人名、適切な日本語訳のない術語、書名やテスト名などにのみ用いる。
  - (6) 数字は原則として算用数字を用いる。
  - (7) 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、必要な場合には、初出の時にその旨を明記する。
  - (8) 引用文献は論文の最後の著者名のアルファベット順に、一括して挙げる。引用文献の記載は、①著者名 ②刊行年次③表題の順とする。単行本の場合は、表題の後に、版数、出版社名(外国の場合は出版地も)を記し、雑誌論文の場合は、表題の後に、雑誌名、巻数、ページを記す。
  - (9) 表題の英文訳を付すことが必要であるが、英文要約は審査のうえ、採択掲載が決定してから提出してもよい。
  - (10) 和文要約と英文要約の末尾に、5語程度のキーワードを示す。
6. 論文の投稿にあたって次のことを留意する。
  - (1) 論文の投稿にあたり、その第1著者は学校心理士または学校心理士補の資格を有する者でなければならない。
  - (2) 投稿に際して、投稿票(本会のホームページからダウンロードできる)、ワープロ原稿(本文と表・図・写真等)3部を編集委員会が指定する期日までに提出する。
  - (3) 投稿票には、表題、著者名と所属機関名(著者が複数の場合は全員について)、並びにそれらの英訳、投稿推薦者がある場合は推薦者の氏名と所属支部名を記す。
  - (4) ワープロ原稿には、著者名・所属機関名を記述しない。
7. 投稿原稿の採択と掲載の決定は、投稿された原稿を複数の専門家による審査(査読)に基づいて編集委員会で行い、論文原稿執筆者(著者)に通知する。
8. 採択掲載が決定し、その通知を受けた時は、必要な修正・加筆のうえ、指定された期日までに、印刷された完成原稿及び英文要約と、その原稿を記録した電子媒体(FD、CD等)またはEメール添付によるファイルを提出しなければならない。期日までに提出されない場合は、投稿・掲載を辞退されたものとみなす。
9. 著者に抜き刷り20部を贈呈する。それを超える分の費用は著者の負担とする。
10. 本年報に掲載された論文の原稿は返却しない。
11. 本誌に掲載された論文の著作権は、日本学校心理士会にあり、無断で複製または転載することを禁ずる。
12. 投稿論文の送付先及び、不明な点についての問い合わせ先は、以下の通りである。

〒113-0033 東京都文京区本郷2-27-2 東眞ビル6階  
日本学校心理士会 年報編集委員会 宛  
FAX: 03-3818-1588 e-mail: office@gakkoushinrishi.jp